

令和元年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
1	1	1	議会費	132

部局名	議会事務局
課名	議事課

I : 事業概要

施策事業名	議会運営
事業目的	議員報酬や期末手当の支払い、会議録作成や政務活動費、議会行事に関する支出など、議会、議員に関連する事務的な経費を適正に支出する。
事業内容	<p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市議会議員20名に対する報酬や期末手当及び共済負担金の支払い ○9月に1名退職し、20名→19名となった。 <p>○議会事務（令和元年度の特記事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員改選に関すること 新人議員、新会派設立等への対応（議場内氏名標の書き換え、会派室の名称書き換え） 集合写真撮影、議員バッジ、防災服一式、書籍等の支給 （議員改選に係った費用 403,384円） ・議会運営に関すること 委員会室マイクバッテリー購入 議場ユーチューブ配信用パソコン購入
事業の成果・効果	議会運営及びそれに伴う事務が適切に執行できている。

II : 個別事業内訳

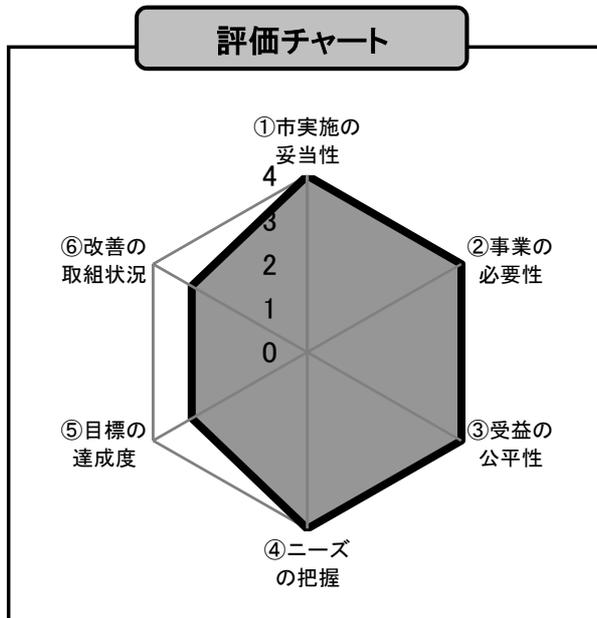
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		情報発信	分かりやすさ	サービス水準
議員人件費	194,247	0	194,247	100%	4	4	4
議会事務	1,521	0	1,521	100%	4	3	4
議会広報・広聴	4,731	0	4,731	100%	4	3	4
議会会議録作成	3,211	0	3,211	100%	4	4	4
正副議長公務	1,073	0	1,073	100%	4	4	3
行政視察・交流	1,245	0	1,245	100%	4	3	3
政務活動費	2,192	0	2,192	100%	4	3	4
合計	208,220	0	208,220	100%	4	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		H30決算	R1決算	R2予算
		216,157	208,220	210,197
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	216,157	208,220	210,197
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	法定業務である本会議の会議録作成や市議会だよりの発行、議員報酬の支払い、旅費支給等はやらなければならない事業である。
②事業の必要性	4	議会は、市の予算執行を議決する機関であり、議会の中継を配信する業務は市民に対する必要な情報公開業務であり、会議録として議決状況の記録を残すことは重要な業務である。
③受益の公平性	4	議会の状況は、市民全体に向け情報公開している。
④ニーズの把握	4	会議録検索システム、録画映像配信システム等の利用者数や議会傍聴者アンケート、各種行事アンケート、市民フリースピーチにおいて、直接市民から得た意見から、市民ニーズを把握している。
⑤目標の達成度	3	情報の発信方法は、より多くの市民に発信、提供するための工夫をする余地はあると考える。
⑥改善の取組状況	3	議員とともに協議し、今後も事業改善に取り組んでいく。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和元年度に見直しを実施した事項	議会改革として、議会の機能強化や緊急の課題に素早く対応できるよう検証し、令和2年3月定例会にて通年議会の導入を決定した。
令和2年度に見直しを実施している事項	通年議会を令和2年5月1日から導入、議会資料のICT化、市民フリースピーチ制度の改善。
今後見直しを検討する事項	議会を傍聴される方が特定の方であったり、意見交換会や市民フリースピーチ等を実施した際、行事の意図が市民と議会で異なる場合がある。市民が関心を持ち、市民に身近な議会となるよう、又、意義のある行事になるよう検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和元年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
幅広い層の市民に、いかにして議会に関心をもってもらうか。	議会の傍聴、親子議場見学会、市民との意見交換会、市民フリースピーチ制度等の議会行事に幅広い層の市民が関心を持ち、参加してもらえるよう広報活動を行っていく。